

灰溶融炉の主な廃止理由

- 維持管理コスト増加
- スラグ利用減少
- スラグ利用困難
- スラグ品質管理困難
- ダイオキシン対策可能
- 運転管理困難
- トラブル多発
- 事故停止
- 熱回収困難
- 温室効果ガス増加
- 溶融飛灰(処理副産物)増加
- 塩分濃度管理困難(焼却灰)
- エネルギー & 設備依存型リサイクル
- 技術者不足
- 時代遅れ
- 最終処分場確保(15年分)
- 他の資源化
- 長寿命化回避